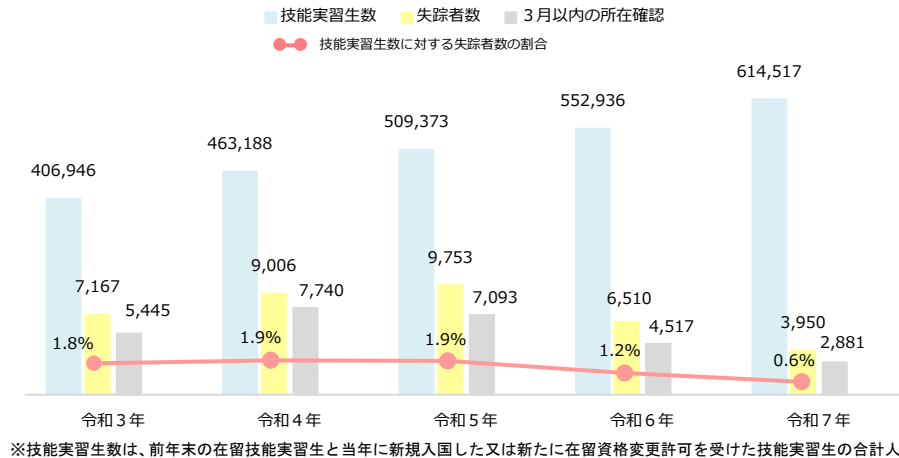


失踪技能実習生を減少させるための施策

1 失踪の主な原因

- ◇ 賃金等の不払いなど、実習実施者側の不適正な取扱い
- ◇ 入国時に支払った費用の回収等、実習生側の経済的な事情



2 平成29年11月に施行された技能実習法の下、外国人技能実習機構による制度の適正化に向けた各種取組

- 技能実習計画の認定制
- 監理団体の許可制
- 定期的な実地検査
- 母国語相談体制の充実
- 二国間取決めによる送出しの適正化
- 違約金の定めなどの不適正な契約を認知した場合は、監理団体の許可を取り消し、送出国政府に通報するなど厳正に対処

3 失踪防止に向けた主な取組

① 技能実習生に関する取組

- 来日前の確認事項やブローカーの勧誘に対する注意喚起を促すリーフレット配布
- ミャンマー人への緊急避難措置対象者の見直し
- やむを得ない事情がある場合の転籍の運用改善

② 監理団体・実習実施者に関する取組

- 失踪発生時の対応、技能実習生に対する労働条件等の丁寧な説明を求めるリーフレット配布
- 人権侵害行為や不利益な取扱い防止に関する啓発
- 失踪者を出した監理団体等に対し、帰責性を踏まえて技能実習生の新規受入れを停止

③ 送出国に関する取組

- 失踪者の発生が著しい送出国に対して新規受入れ停止措置の実施
- 相手国におけるブローカー対策や送出国の適正化を促すなど、二国間取決めに基づく対応の強化

④ 主務省庁等における取組

- 失踪事案発生時の速やかな実地検査等の実施
- 在留カード番号等の情報を活用した不法就労等の摘発強化
- 失踪技能実習生の在留資格取消しの強化
- 失踪技能実習生を雇用した企業の刑事告発及び公表
- 失踪技能実習生等に係る情報の関係省庁との共有